

メールニュース

No.23-11
2023年 3月 9日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央常任幹事会オンライン兼 (3/8)

「大軍拡・大增税反対」署名など運動強化

「辺野古新基地断念を求める署名」推進を

安保中央常任幹事会(民医連
会議室・全労連会館8階)



安保破棄中央実行委員会は3月8日、オンラインを併用して全労連会館・民医連会議室で常任幹事会を開き、当面の取り組みについて確認しました。参加は12団体15人でした。

東森英男事務局長が報告し、岸田政権の新「安保3文書」による大軍拡・大增税の「戦争国家」づくりに向け、「大軍拡・大增税 NO!連絡会」の運動をはじめ、国民的共同を広げた運動の強化が求められていると述べ、国民が「岸田大軍拡」で平和憲法とくらしを壊すものであることに気づき始めていると指摘。総がかり行動実行委員会としても「大軍拡・大增税反対署名」に取り組むことを強調しました。

また、オール沖縄会議が呼びかけた辺野古新基地断念を求める署名を全国で広げ、3月14日の中間集約と5月19日の最終集約にむけての運動強化を訴え、欠陥機オスプレイの配備撤回や岩国などでの米兵犯罪、有機フッ素化合物(PFAS)を許さないために日米地位協定改定などの運動強化を呼びかけ、辺野古・与那国島・石垣島のたたかいと連帯する安保中央・全国革新懇主催の現地行動ツアーを6月10日～12日に実施することなどを提起しました。

討論では、大軍拡問題の学習、日米合同演習の状況(全労連)、馬毛島の基地建设状況・反対のとりくみ(民医連)、台湾有事にさせない平和外交づくり(全教)、「大軍拡・大增税反対署名」や集会の取り組み(全商連)、大軍拡よりくらしの要求を(新婦人)、大軍拡より憲法生かした政治を(平和委員会)木更津基地強化・陸自オスプレイの状況、(安保千葉)、横田のオスプレイ運用・PFAS問題(安保東京)などが報告されました。常任幹事会は議案を確認しました。

安保破棄中央実行委員会の3月宣伝

3月23日(木) 12時～新宿駅西口 参加をお願いします。



三沢米軍基地所属F16の燃料タンク
投棄に抗議する人たち

16戦闘機などによる度重なる事故によって、120万県民の命とくらしが絶えず危険にさらされていることに強く抗議し、私たちは県民の命を危険にさらすF16戦闘機の運用について、米軍基地司令官宛に「1)原因を県民に委報告すること、2)F16の飛行訓練を中止すること、3)三沢基地からF16戦闘機を撤去することを求めました。防衛局は、要請を米軍に伝えると述べ(青森県平和委員会 大宮慶作)

最近でも2018年のしじみ漁中の小川原湖への燃料タンク投棄、2019年の六ヶ所村小・中学校の近隣への模擬弾投棄、2021年に深浦町で、燃料タンクが投棄場所から20メートル離れた民家への至近距離への投棄など、近年頻発する住民の生活圏への投棄事故は、青森県民にとって一歩間違えば大惨事の重大な脅威で、県民は不安と怒りを表しています。

米軍三沢基地所属のF16戦闘機1機が2月15日に、飛行訓練中に緊急事態に陥り、三沢から22キロの太平洋沖に、燃料タンク2個が投棄され、事故から1日遅れで防衛省や青森県などに連絡したことが明らかになりました。

青森県平和委員会と上十三平和委員会は5名で2月24日、東北防衛局三沢事務所を訪れ、三沢米軍基地司令官あてに抗議の申し入れを行い、その後基地正面ゲート前と三沢市役所前で抗議の宣伝行動を行いました。

最近でも2018年のしじみ漁中の小川原湖への燃料タンク投棄、2019年の六ヶ所村小・中学校の近隣への模擬弾投棄、2021年に深浦町で、燃料タンクが投棄場所から20メートル離れた民家への至近距離への投棄など、近年頻発する住民の生活圏への投棄事故は、青森県民にとって一歩間違えば大惨事の重大な脅威で、県民は不安と怒りを表しています。

1985年5月の配備以来、13機が墜落、模擬弾投棄11回、燃料タンク投棄は今回で21回を数え、他にも実弾投棄や部品落下、民間空港への緊急着陸など事故が繰り返され、いつ県民の頭上に落下してくるのか分からない不安と恐怖に置かれています。

青森
三沢

F16戦闘機 燃料タンク投棄
東北防衛局に抗議 宣伝行動